

## ギターCD レター from yakateru(第 41 号)

ボサノバ、JAZZ、映画音楽、挙げ句の果て(?)演歌にまで拡散してしまったが、やはり、BACH の呪縛からは逃げられないのだろうと思う。今、リュート組曲の 1 番が流れているが、心の一番の底に触れるような感じがある。さて、演歌の心を活かしつつ、BACH を弾こう!!!

さて、残り 10 号は、しっかりとギターの話をして締めたい!!!

### リュート、バイオリン、チェロ組曲

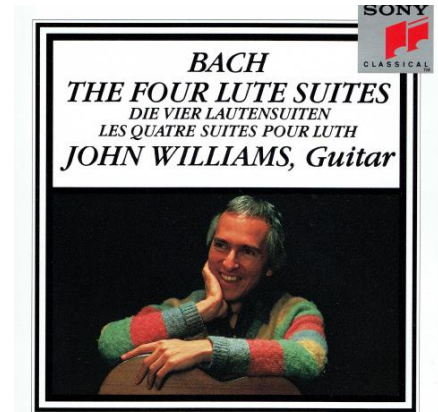
40 号で演歌まで脱線したので、戻って BACH のギター曲について紹介したい。今回は、お持ちであれば、リュート組曲の CD を聴きながら、あるいは楽譜を見ながら読んでもらえるといいかも。

その 1 回目は、無伴奏シリーズである。ほとんどオリジナルにちかい「リュート組曲(BWV995-997、1006a)」の 4 曲。「無伴奏チェロ組曲(BWV1007-10012)」の 6 曲、それと「無伴奏バイオリン作品のソナタ、パルティータ(1001-1005)」の 5 曲。あわせて、15 曲について紹介する。なぜ、この 15 曲かというと、実は、1981 年、1982 年の現代ギター社のおまけで B5 版の楽譜集がついており、私は、ほとんどこのおまけ楽譜で弾いてきたからである。編曲者は、佐野健二、小山勝氏ら数名が担当している。

リュート組曲での最高峰は、4 番であろう。第 1 曲プレリュードの難易度は高いものの、躍動感あふれる作品で、弾いていてイケイケどんどん!!!とパワーがみなぎってくる。続くルール(舞曲)は、全体が上品でかつ明るく輝いているうえに、プレリュード同様に上昇志向が強く出ている元気の出る曲で、かつ後半はそれに心地よい憂いのある響き加わる。明るく元気な、でも、どこか寂しげでもある貴婦人のようである。続く 3 曲ガボットは、いうまでもない有名な曲であるが、この曲が、リュート組曲として、オリジナルで存

在すること自体がとても嬉しい。通常、ガボットは、軽快でわかりやすく、そのためさらりと終わってしまうのだが、このガボットは、実に、重厚な作品である。さて、続くメヌエットの 2 曲、これは、ルールで登場した貴婦人にしっかりと育てられた娘二人のように、爽やかである。メヌエット I の長女の方は、元気ハツラツ。メヌエット II の次女の方は、おっとりタイプというような感じだ。さあでてきた、いたづらっ子の長男が。これが、メヌエットに続くブルーである。やたら走り回るがドタバタではなく、どちらかといえば、ちょろちょろハムスター的か?そして、最後のジーク。当然、親父さんの登場だ。どっしりと構えて威厳もあり、しかし、スポーツマン的な面も、そう、テニスがうまそう。ということで、このリュート組曲第 4 番は、最初に、この一家の紹介があり、貴婦人が登場、その後二人の娘と、元気な長男、最後に貴婦人の旦那さんが登場するという、親子 5 人家族で構成された組曲なのである(と、勝手に決めつけている……。ははは)

ありゃ、15 曲を俯瞰的に紹介しようと思ったが、1 曲だけでほとんど、ここまで来てしまった。とりあえず残りのリュート組曲の 3 曲を紹介する。第 4 曲が凄すぎるので次席になったが、第 1 番も、壮大なかつ重厚で厳粛な曲である。「禁じられた遊び」「アルハンブラ宮殿」に続いて有名であろうギター曲を「ブルー」に持つこの作品は、ともかくずっと重たい曲



である。弾くときには、襖をしなければ弾けない、そんな印象の曲であり、宗教色が極めて強い作品なのではないかと(勝手に)思う。

で、突然、世俗的になるのが第 2 番だ。自分で弾く曲としては、このプレリュードと 2 曲目のフーガは、お気に入りの曲である。この 2 曲に最終曲ダブルを加えた 3 曲は、どうしても、リュート作品の「プレリュード、フーガ、アレグロ」の 3 曲に重なる。もちろん全く違った曲であるが、隠された表(長調)と裏(短調)のペアの曲ではないのかと私は疑っている。

さて、残る第 3 番は、逆に、最もリュートの曲だと思う。このガボット I、II も超有名な曲だし、プレリュードも渋くてカッコいい。ただ、続く 3 曲と終曲のジークが、ちょっと地味なために、私の中では 4 番目だ。サラバンドは、私の中では BACH が作ったとは信じられない曲で、チェロならまだしも、リュートでこれか?と考え込んでしまう。

ということで、残りの 11 曲は次回以降にということで、…。

さて、今日のお勧め CD は、リュート組曲のいくつかの CD のなかで、正統派で、かつリュートでなくギターで弾いているジョン・ウィリアムスの CD である。ジャケット写真の若いこと!! (続)

# J. S. バッハ：リュート組曲 (全4曲)

J. S. BACH: THE FOUR LUTE SUITES

## ジョン・ウィリアムス (ギター)

JOHN WILLIAMS, Guitar

### 組曲第1番ホ短調 BWV996

①	I. プレリユード：パッサージョ；プレスト <i>Préludium: Passaggio - Presto</i>	(2:34)	④	IV. サラバンド <i>Sarabande</i>	(3:03)
②	II. アルマンド <i>Allemande</i>	(2:00)	⑤	V. ブーレ <i>Bourrée</i>	(1:13)
③	III. クーラント <i>Courante</i>	(2:34)	⑥	VI. ソーグ <i>Gigue</i>	(2:49)

### 組曲第2番 (パルティータ) イ短調 BWV997 (オリジナル：ハ短調)

⑦	I. プレリユード；II. フーガ <i>Préludium - Fugue</i>	(9:22)	⑨	IV. ジーグ；V. ドゥーブル <i>Gigue - Double</i>	(3:54)
⑧	III. サラバンド <i>Sarabande</i>	(3:46)			

### 組曲第4番ホ長調 BWV1006a

⑩	I. プレリユード <i>Préludium</i>	(4:26)	⑬	IV. メヌエットI, II <i>Minuets I &amp; II</i>	(4:19)
⑪	II. ルール <i>Loure</i>	(3:34)	⑭	V. ブーレ <i>Bourrée</i>	(1:50)
⑫	III. ロンド風のガヴォット <i>Gavotte en Rondeau</i>	(2:48)	⑮	VI. ジーグ <i>Gigue</i>	(2:03)

### 組曲第3番イ短調 BWV995 (オリジナル：ト短調)

⑯	I. プレリユード：プレスト <i>Préludium: Presto</i>	(3:18)	⑲	IV. サラバンド <i>Sarabande</i>	(3:51)
⑰	II. アルマンド <i>Allemande</i>	(3:08)	⑳	V. ガヴォットI, II <i>Gavottes I &amp; II</i>	(4:10)
⑱	III. クーラント <i>Courante</i>	(2:06)	㉑	VI. ジーグ <i>Gigue</i>	(2:14)

(Total time 71:19)

おまけの映像です。

スペインの「ひまわり」です

撮影：矢ヶ部

